

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2101414	未来へつなぐアウトリーチⅢ Outreach activity for the futureⅢ	家政学部全教員	基礎	1	選択	3年前期 集中

科目の概要

この授業は家政学部の教育目標である pisa型学力・建学の精神(四大精神)・社会人基礎力を実践する場としても位置付けています。未来へつなぐアウトリーチⅢでは、「未来へつなぐアウトリーチⅠ・Ⅱ」の学修内容を到達させることを目的に、チームの成果が最大となるように支援するファシリテーションに取り組みます。修得している家政学の視点からのpisa型学力・建学の精神・社会人基礎力をさらに発揮し、実習に参加する人たちの行動を円滑に進めることができるマネジメント力を学修します。ファシリテーターとして、メンバーの意欲・能力・知識を信頼し、可能性を信じて、メンバー自らが決定し、自ら動くことができる支援をします。基本となる思考力は、メンバーの話を構造的・構造的に理解する力を修得します。

学修内容	到達目標
① 実習の目的・目標を達成するために、1年生が作成した実施計画書が円滑な作業工程になっているか確認し、課題を見つけるマネジメントを実施する。 ② 作業工程どおりに進行しているか、チェックして課題を見つける。 ③ メンバー相互のコミュニケーションの取り方の問題点を見つける。 ④ pisa 型学力、社会人基礎力、建学の精神を実践する。 ⑤ プレゼンテーションスキルを1年生に支援する。	① グループメンバーの意見を引き出し、論点を整理し、課題を発見し、解決へ導くマネジメントができる。 ② 実習を円滑に進める PDCA サイクルの支援ができる。 ③ コミュニケーションスキルの傾聴、復唱、質問、主張、非言語的メッセージの解説等を実践することができる。 ④ pisa 型学力、社会人基礎力、建学の精神(四大精神)を活用して、メンバーの pisa 型学力、社会人基礎力、建学の精神を発揮させる支援ができる。 ⑤ プレゼンテーションスキルを活用して、1年生の成果発表を支援することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	実習の目的・目標を自己のものとして、教員、活動先の方から言われたことだけでなく、自らやるべきことは何かを考え、実行することができる。
	働きかけ力	実習の目的・目標に向かって「1年生の行動を支援する」呼びかけ、1年生に影響を与える行動へと進めることができる。
	実行力	実習の目的・目標を達成しようという意志を持ち、決めたこと、決められたことは確実に成し遂げる行動を続けることができる。1年生にも影響力を与える行動ができる。
考え抜く力	課題発見力	1年生の実習目的・目標の達成に向けて、家政学の視点に立って、現状分析・問題点を抽出し、何が課題であるか明らかにできる。
	計画力	1年生が提案する複数の実施計画案から現実可能な計画案になっているか明らかにできる。課題を発見して修正することができる。
	創造力	1年生の活動で発生する課題解決に対して、固定観念や既存の発想にとらわれることなく、家政学の視点に立ち、自由な発想でコミュニケーション、行動がとれるように支援することができる。
チームで働く力	発信力	1年生の活動を円滑に進めるために、意見・考え・提案を分かりやすく、1年生メンバー、ボランティア先の方に伝えることができる。
	傾聴力	1年生メンバー、ボランティア先の方の話を適切なタイミングで相槌、うなずきをしながら聴き、相手の言いたいことを整理し、確認しながら聴くことができる。
	柔軟性	1年生、ボランティア先の方からの意見・考え・提案に相違点があっても、内容を整理し、どうしたら同じ方向で前進できるか調整しようとする事ができる。
	状況把握力	1年生の支援者であるという立場・役割・使命を理解し、グループメンバー、ボランティア先の方がどのような関係にあるのか、物事がどのように進行しているかを把握できる。
	規律性	活動の中で、人と人との約束ごとである一般社会のルールや慣習、あるいはチーム内のルールや慣習を守り行動ができる。
	ストレスコントロール力	活動の中で、ストレスを感じる出来事を自分の成長の機会だとポジティブに捉えることができる行動がとれている。

テキスト及び参考文献

テキスト: 毎回、配布するワークシートが、皆さんと一緒に作り上げるテキストです。最終的には自分の教科書となります。
参考文献: 無限の可能性-学泉ノート-

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:

・家政学部で学ぶ科目評価の社会人基礎力(学修態度)すべてに関連します。

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の実習で修得した知識・技能をワークシートで振り返り、1年生の実習をシミュレーションしておきます。 ・家政学の知識を活用して、課題解決するとは何か、いつも疑問に持ち実習に取り組みます。 ・社会人基礎力の発揮はセルフチェックシートを常に活用します。 ・実習を円滑にするスキルは、コミュニケーションが重要です。相手に伝える話し方を意識して、日常生活を送ります。 ・建学の精神、社会人基礎力を意識して、正課内外でも実践します。実習を円滑に進めるには、何が必要か、実験実習、サークル活動などを観察します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業やメンバー間で決めたことは、必ず守りましょう。 ・建学の精神(四大精神)は大学生活の中で常に発揮しましょう。挨拶を習慣化します。 ・社会人基礎力の12の能力要素について、自己の達成レベルを明確にして行動します。 ・衣食住について、1日1つ、疑問を持ち、友達と意見交換します。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
小テスト		①	
		②	
レポート	60	①	<p>ワークシートの記述と実習時の実践より評価します。 (評価方法)</p> <p>① 毎週の実習でグループメンバーの意見を引き出し、論点を整理し、問題解決への調整を図ることができる記述がある。さらに実践もできている。 ② 1年生が作成する実施計画書の図式化ができている。図式化を基に実習を円滑に進めるPDCAサイクルの支援もできている。 ③ コミュニケーションのスキルとして、傾聴、復唱、質問、主張、非言語的メッセージの解読等について実践したことがワークシートに記述され、実践もできている。 ④ 1年次に修得した pisa 型学力、社会人基礎力、建学の精神能力を更に発揮していることがワークシートに記述され、実践もできている。 1年生の成果発表を支援することもできている。</p> <p>(評価)</p> <p>S: ①～④全て対応している A: ①～④の3つは対応している。 B: ①～④の2つは対応している。 C: ①～④の1つは対応している。 F: ワークシートへの記述のみ、実践がされていない。</p>
		②	
		③	
		④	
		⑤	
成果発表 (口頭・実技)	30	①	<p>・1年生が成果発表するにあたり、プレゼンテーションスキルを活用して支援することができている。 (評価方法)</p> <p>① pisa 型学力について、他の人(関係者)にも聞いてもらいたいと思った発表ができている。 ② 社会人基礎力について、他の人(関係者)にも聞いてもらいたいと思った発表ができている。 ③ 建学の精神能力について、他の人(関係者)にも聞いてもらいたいと思った発表ができている。 ④ 言いたいことが理解できるプレゼンができている。</p> <p>(評価)</p> <p>S: ①～④全て対応している A: ①～④の3つは対応している。 B: ①～④の2つは対応している。 C: ①～④の1つは対応している。 F: すべて対応していない。</p>
		②	
		③	
		④	
		⑤	
作品		①	
		②	

社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(評価方法)
		②	✓	<主体性>
		③	✓	・実習の目的・目標を達成するために、一歩でも前に進めようと積極的に取り組んでいる。そして、その内容がワークシートにも記載できている。
		④	✓	<働きかけ力>
		⑤	✓	・実習の目的・目標に向かって「1年生の行動を支援する」呼びかけ、1年生に影響力を与えていることがわかる。そして、その内容がワークシートにも記載できている。 <実行力> ・実習の目的・目標を達成しようという意志を持ち、決めたこと、決められたことは確実に成し遂げる行動を続ける行動ができている。そして、1年生にも影響力を与える行動ができる。さらにその内容がワークシートにも記載できている。 <課題発見力> ・実習目的・目標の達成に向けて、家政学の視点に立って、現状分析・問題点を抽出し、何が課題であるか明らかにでき、その内容がワークシートにも記載できている。 <計画力> ・提案する複数の実施計画案から現実可能な計画案になっているか明らかにすることができている。そして、実施計画案をPDCAサイクルで評価することができている。さらにその内容がワークシートにも記載できている。 <創造力> ・活動で発生する課題解決に対して、固定観念や既存の発想にとらわれることなく、家政学の視点に立ち、自由な発想でコミュニケーション、行動がとれるように支援することができている。そして、その内容がワークシートにも記載できている。 <発信力> ・活動を円滑に進めるために、意見・考え・家政学の視点に立って、現状分析・問題点、何が課題提案を分かりやすく、1年生メンバー、ボランティア先の方に伝えることができている。そして、その内容がワークシートにも記載できている。 <傾聴力> ・メンバー、ボランティア先の方、教員の話に適切なタイミングで相槌、うなずきをしながら聴き、相手の言いたいことを整理し、確認しながら聴くことができる。具体的には、傾聴、復唱、質問、主張、非言語的メッセージの解読等を実践することができている。そして、その内容がワークシートにも記載できている。 <柔軟性> ・ボランティア先の方からの意見・考え・提案に相違点があっても、内容を整理し、どうしたら同じ方向で前進できるか調整することができている。そして、その内容がワークシートにも記載できている。 <状況把握力> ・支援者であるという立場・役割・使命を理解し、グループメンバー、ボランティア先の方がどのような関係にあるのか、物事がどのように進行しているか把握できている。そして、その内容がワークシートにも記載できている。 <規律性> ・実習を通して、一般社会でのルールや慣習を守る行動ができている。そして、その内容がワークシートにも記載できている。 <ストレスコントロール力> ・活動の中で、ストレスを感じる出来事を自分の成長の機会だとポジティブに捉えることができる行動できている。そして、その内容がワークシートにも記載できている。
			(評価) 以上の能力要素は学泉ノート評価レベル 4 以上実行できていることで 10%評価とします。評価レベル 4 以下は 1 ポイント減点します(0%が最低となります)。評価はワークシート、担当教員が実習行動より評価します。	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>① 実習を目的・目標を達成するために、意見を引き出し、何が問題かの論点を整理し、問題解決への調整を図る行動ができています。</p> <p>② 作業手順を図式化して、1年生の実習を円滑に進めるPDCAの各段階でアドバイスとチェックをかけ、常に効果的な支援ができています。</p> <p>③ 実習を円滑に進めるコミュニケーションスキルとして、傾聴、復唱、質問、主張、非言語的メッセージの解説等を1年生、実習先の方にも実践することができています。</p> <p>④ pisa型学力、社会人基礎力、建学の精神と比較して、全てをさらに発揮していることをワークシートに具体的に記述できています。</p> <p>⑤ 実習でpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神をどのように発揮して、実習の目的・目標に到達できたか、そして能力はどれだけ育成できたか、1年生がpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神を明確に発表できるように支援することができています。</p> <p>・①から⑤全てが、毎週の授業で実行されている・・・S ・①から⑤全てが、毎週ではないが実行されている・・・A</p>	<p>① 実習を目的・目標を達成するために、意見を引き出し、何が問題かの論点を整理する行動ができています。</p> <p>② 作業手順を図式化して、1年生の実習を円滑に進めるPDCAの各段階でアドバイスとチェックをかけることができ、時々効果的な支援ができています。</p> <p>③ 実習を円滑に進めるコミュニケーションスキルとして、傾聴、復唱、質問、主張、非言語的メッセージの解説等を1年生には実践することができています。</p> <p>④ 修得したpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神と比較して、3項目すべてで発揮していることをワークシートに記述できています。</p> <p>⑤ 実習でpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神をどのように発揮して、実習の目的・目標に到達できたか、そして能力はどれだけ育成できたか、1年生がpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神のいずれかを明確に発表できるように支援することができています。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	<p><実習を円滑に進めるスキルを学ぶ></p> <p>① ファシリテーションとは ② コミュニケーション力とは ③ アイスブレイキングの方法 ④ pisa 型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮の実践報告</p>	<p>講義</p> <p>ワークシートにまとめ、ペアワークにより理解を深める。</p>	<p>・教育内容の①から④を口頭で伝えることができる。 ・教育内容の①～④をワークシートに整理して記述できている。</p>	<p>(予習)</p> <p>2 年次に修得した以下の内容を確認しておく</p> <p>・ファシリテーションとは何か ・コミュニケーション力とは何か ・pisa 型学力、建学の精神(四大精神)、社会人基礎力の発揮法を振り返る</p> <p>(復習)</p> <p>・課題をする ・学修内容の①②③④を再度確認して、ワークシートに整理して記述する</p>	30	<p>主体性 課題発見力 創造力 傾聴力</p>
2週 /	<p><1 年生へ以下の支援></p> <p>・pisa 型学力 ・建学の精神 ・社会人基礎力 ・実習マナー ・健康、危機管理 <ファシリテーターとしてメンバーへ自己紹介> ・アイスブレイキングの活用</p>	<p>実習</p> <p>ファシリテーターとなる学生は 1 年生に質問をして理解を深めるファシリテーションを実践する。</p>	<p>・ワークシートに学習内容を理解するために、支援した内容が具体的に記述できている。 ・pisa 型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。</p>	<p>(予習)</p> <p>・1 年、2 年次のアウトリーチ I のワークシートを確認し、活動時の課題等を確認しておく</p> <p>・pisa 型学力、建学の精神、社会人基礎力について、1 年生に伝えられるように整理して臨む</p> <p>(復習)</p> <p>・課題をする ・学修内容の①②③④を再度確認して、ワークシートに整理する</p>	30	<p>主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力 状況把握力 柔軟性 ストレスコントロール力</p>
3週 /	<p><実習場所の実態が把握できるように 1 年生を支援></p> <p>・アイスブレイキングの実践 ・実習先の方と学生の信頼関係の構築 ・実習先の活動内容の把握 ・実習先から期待されていることの把握 ・pisa 型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮</p>	<p>実習</p> <p>1 年生が実習先の方より、実習場所の概要、課題の説明をうける。1 年生がより理解を深められるようにファシリテーションを実践する</p>	<p>・実習先の実態を把握するために、支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。 ・pisa 型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。</p>	<p>(予習)</p> <p>・第 2 週の内容を熟知して、1 年生に理解してもらうにはどんな方法があるか考える</p> <p>(復習)</p> <p>・本時の課題をワークシートに整理する</p>	60	<p>主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力 状況把握力 柔軟性 ストレスコントロール力</p>
4週 /	<p><実習場所を回遊調査して課題発見できるように 1 年生を支援></p> <p>・1 年生が課題を発見できるように、ファシリテーションを実践 ・1 年生の pisa 型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮へ</p>	<p>実習</p> <p>1 年生の回遊調査が円滑に進むように、ファシリテーションを実践します。</p>	<p>・回遊調査から課題を発見するために、支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。 ・pisa 型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮</p>	<p>(予習)</p> <p>・1 年生の実習計画書から課題を発見し、解決法も提案できるようにしておく</p> <p>(復習)</p>	30	<p>主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力</p>

5週 /	の支援 ・ファシリテーターとして pisa 型 学力、建学の精神、社会人基礎 力の発揮		した内容が具体的にワーク シートに記述できている。	・リーダーとして、うまく いったこと、難しいと 感じたことをワークシ ートに具体的に記述 しておく	計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレス コントロール力
6週 /	<実習の目的・目標の設定> ・1年生の回遊調査の振り返り、 実習の目的と達成目標が円滑 に設定できる支援 ・1年生の pisa 型学力、建学の 精神、社会人基礎力の発揮へ の支援 ・ファシリテーターとして pisa 型 学力、建学の精神、社会人基礎 力の発揮	実習 ディスカッションが円 滑に進むように、ファ シリテーションを実 施する。	・回遊調査から課題を発 見するために、支援した内 容が具体的にワークシ ートに記述できている。 ・pisa 型学力、建学の精 神、社会人基礎力の発揮 した内容が具体的にワーク シートに記述できている。	(予習) ・pisa 型学力、建学の 精神(四大精神)、社 会人基礎力の発揮法 を1年生にどのように 支援するか考える (復習) ・リーダーとして、うまく いったこと、難しいと 感じたことをワークシ ートに具体的に記述 しておく	30 主体性 働きか け力 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把 握力
7週 /	<1年生が作成する実習計画を 図式化> ・実習計画を支援 ・1年生が作成した複数の実習 計画を図式化 ・pisa型学力、建学の精神、社会 人基礎力の発揮への支援 ・リーダーとして pisa 型学力、建 学の精神、社会人基礎力の発 揮	実習 ・ディスカッションが円 滑に進むように、ファ シリテーションを実 施する。 ・複数の実施計画案 から実習計画を図式 化して、最も良い1つ に絞りこむ。	・実習計画書から課題を 発見するために、支援した 内容が具体的にワークシ ートに記述できている。 ・pisa 型学力、建学の精 神、社会人基礎力の発揮 した内容が具体的にワーク シートに記述できている。	(予習) ・pisa 型学力、建学の 精神(四大精神)、社 会人基礎力の発揮へ の支援法を考える ・1年次に実施した実 習計画書を確認し て、問題点などを確 認する (復習) ・リーダーとして、うまく いったこと、難しいと 感じたことをワークシ ートに具体的に記述 する	30 主体性 働きか け力 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把 握力
8週 /	<1年生の実習1回目支援> ・実習目的・目標、個人の行動 目標を明確にして実習に臨むこ とができる支援 ・計画に基づいた実習の実施 ・pisa型学力、建学の精神、社会 人基礎力の発揮への支援 ・ファシリテーターとして pisa 型 学力、建学の精神、社会人基礎 力の発揮	実習 ・実習先の方と円滑 に活動を実施する。 ・PDCA サイクルの実 施(計画に基づいて、 実施できているかチ ェックし、修正が必要 であれば改善する)。 ・1日の実習の成果を 発表する。	・実習を支援した内容が具 体的にワークシートに記述 できている。 ・pisa 型学力、建学の精 神、社会人基礎力の発揮 した内容が具体的にワーク シートに記述できている。	(予習) ・1年生の実習内容を 把握しておく ・pisa 型学力、建学の 精神(四大精神)、社 会人基礎力の発揮の 支援法を考える (復習) ・リーダーとして、うまく いったこと、難しいと 感じたことをワークシ ートに具体的に記述 しておく	30 主体性 働きか け力 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把 握力 規律性 ストレス コントロール力
9週 /					

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の 実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
10週 / 11週 /	<p>〈1年生の実習2回目支援〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習目的・目標、個人の行動目標を明確にして実習に臨むことができる支援 ・計画に基づいた実習の実施 ・pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮への支援 ・ファシリテーターとしてpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮 	<p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習先の方と円滑に活動を実施する。 ・PDCAサイクルの実施(計画に基づいて、実施できているかチェックし、修正が必要であれば改善する)。 ・1日の実習の成果を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。 ・pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の実習内容を把握しておく ・pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮への支援法を考える <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとして、うまくいったこと、難しいと感じたことをワークシートに具体的に記述しておく 	30	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12週 / 13週 /	<p>〈1年生の実習2回目支援〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習目的・目標、個人の行動目標を明確にして実習に臨むことができる支援 ・計画に基づいた実習の実施 ・pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮への支援 ・ファシリテーターとしてpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮 	<p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習先の方と円滑に活動を実施する。 ・計画に基づいて、実施できているかチェックする。 ・PDCAサイクルの実施(計画に基づいて、実施できているかチェックし、修正が必要であれば改善する)。 ・1日の実習の成果を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。 ・pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の実習内容を把握しておく ・pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮への支援法を考える <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとして、うまくいったこと、難しいと感じたことをワークシートに具体的に記述しておく 	30	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14週 /	<p>〈1年生のグループ内成果発表を支援〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表内容について、質問、アドバイスを実施 ・pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮への支援 ・ファシリテーターとしてpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮 	<p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表者は計画書・活動内容・成果・課題とpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神についてわかりやすく伝えられるように支援する。 ・発表を評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。 ・pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次の発表の内容の課題について振り返っておく ・プレゼンテーション技法について確認する <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとして、うまくいったこと、難しいと感じたことをワークシートに具体的に記述しておく。 	60	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
15週 /	<p>〈1年生の全体成果発表を支援〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表内容について、質問、アドバイスを実施 ・pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮への支援 ・ファシリテーターとしてpisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮 	<p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表者は計画書・活動内容・成果・課題とpisa型学力、社会人基礎力、建学の精神についてわかりやすく伝えられるように支援する。 ・発表を評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を支援した内容が具体的にワークシートに記述できている。 ・pisa型学力、建学の精神、社会人基礎力の発揮した内容が具体的にワークシートに記述できている。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次の発表の内容の課題について振り返っておく ・プレゼンテーション技法について確認する <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の発表は、リーダーとして、うまくいったこと、難しいと感じたことをワークシートに具体的に記述しておく。 	30	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

